

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 ファッション流通科 2年リテールプランニングコース 1、2組	単 位	A : 3単位 B : 4単位
科目コード	科目名 リテールマーチャンダイジング A・B	授業期間	前期 : A 後期 : B

担当教員(代表) : 砂生政信	共同担当者 : 佐藤雄太郎
-----------------	---------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
カリキュラムの主軸である RE・TENT 運営から、学生オリジナルショップの計画から出店までの実務を通して学び、リテールマーチャンダイジングに必要な知識を得ることを目指す。
(客層/チャネル、商品構成、コンセプト/店舗面積/店舗イメージ、販売サービス/販促/売上高など)

第1ステップ 個人企画 RE・TENTに向けた個人企画の立案及び発表

- ・ RE・TENTでやりたいことを個人企画立案(市場情報、消費者情報のリサーチ)
- ・ 企画書項目: 目的、リサーチ結果、コンセプト、ターゲット、商品内容

第2ステップ グループワーク チーム別ショップ・ブランド企画立案・実践

- ・ 企画書項目: 目的と目標、リサーチ結果、コンセプト、ターゲット、商品内容、取引先、PR方法、売場構成
- ・ 計数計画(予算/売上高/仕入高/在庫高/利益)
- ・ 組織構成: 学生責任者、運営部、店長、会計、WEB、PR、VMD、販売の設置
- ・ 外部企業との交渉や契約書の進め方
- ・ サンプル製作
- ・ 生産発注・仕入

第3ステップ グループワーク 実践活動

- ・ 計数予算確定(予算/売上高/仕入高/在庫高/利益)
- ・ 外部交渉(商品発注、販促ツール、什器手配、利益)
- ・ 入荷商品検品
- ・ ささげ業務
- ・ 什器手配活動
- ・ 売場備品手配活動
- ・ 販促物準備活動(パッケージ/POP/その他)
- ・ エントランス・ウィンドウ展示準備
- ・ POP UP未定
- ・ WEBショップサイト準備・オープン
- ・ RE・TENT準備・オープン

第4ステップ グループワーク 実践結果のまとめ・報告

- ・ チーム別反省会
- ・ チーム報告書作成
- ・ 報告会準備・全体報告会
- ・ 自己評価、他己評価
- ・ 個人レポート作成

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

評価基準 前期: 学業評価50%、授業姿勢50%

後期: 学業評価50%、授業姿勢50%、ペーパー試験

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし
記載者書名欄	砂生政信

西暦2024年度

科名 ファッション流通科2年 ファッション流通高度専門士科

科目名 ソーイングa

1単位

担当者: 中野 麗子

教育目標・レベル設定:
各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。
各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

回数	日付	テーマ	目的	指導内容・方法	学習内容・方法	準備・備考
1	4/18	導入、デザイン相談(つけ衿)	導入、各自制作したいものを考える	参考作品の提示、制作方法の簡単な説明	参考作品を提示 縫い方要点	実物参考作品・標本 パソコン プロジェクター
2	4/25	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	デザイン決定、裁断、解体	巻きロックの使用法	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン・ロックミシン アイロン
3	5/2	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リボンの応用	裁縫セット・縫い方標本・リボンサンプル ミシン アイロン
4	5/9	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	ギャザーの寄せ方、 ドロースtring	裁縫セット・部分標本、縫い方標本 ミシン・ひも各種・ゴム各種 アイロン
5	5/16	本縫い・完成	各自の制作物に合わせ実習・点検・提出	点検・実習・提出	素材別仕上げアイロン	裁縫セット 様々な布地サンプル ミシン アイロン
6	5/23	導入、デザイン相談(リメイク)	導入、各自制作したいものを考える	導入、デザイン相談(リメイク)	参考作品を提示 縫い方要点	裁縫セット・実物参考作品・標本 ミシン・リメイク段階標本 アイロン
7	5/30	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	デザイン決定、裁断、解体	既製品の解体について	裁縫セット・縫い方標本・解体標本 ミシン アイロン
8	6/6	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	裁断、解体	解体したパーツの校正	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン・解体標本 アイロン
9	6/13	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	解体したパーツの校正	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン アイロン
10	6/20	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リメイクの本縫い方法	裁縫セット・縫い方標本・リメイク材料 ミシン アイロン
11	7/4	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リメイクの本縫い方法	裁縫セット・縫い方標本・リメイク材料 ミシン アイロン
12	7/11	本縫い・完成	各自の制作物に合わせ実習・点検・提出	点検・実習・提出	仕上げアイロンのかけ方	裁縫セット・様々な布地サンプル ミシン アイロン
13	7/18	発表会	各自の制作物に合わせスタイリングを考える	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)	各自の作品をスタイリングして発表する	裁縫セット・学生制作作品 スタイリングに必要な用具・材料

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RE2	科 名	ファッション流通科 2年リテールプランニングコース 1、2 組	単 位	3 単位
科目コード		科目名	リテールマーチャンダイジング計数	授業期間	(通 年)

担当教員(代表) : 砂生政信	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・アパレル小売業の多くが現在使用している計数に関する基礎知識の修得を目標とする。
- ・計数用語の解説と計算式の理解および演習。実際に店舗で使用している計画書や報告書などの書類の紹介と実習。
- ・本コースが行う文化祭に向けてのリアルショップおよびオンラインショップにおける計数管理。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

【前期 : 26コマ】

1. 計数の基本的な仕組みと考え方について (講義×1コマ)
2. ショップで使われる計数用語① (講義・演習×3コマ)
 - ・売上高と掛率の関係、仕入条件と掛率の関係
3. 振り返り学習① (講義・確認テスト×1コマ)
4. ショップで使われる計数用語② (講義・練習問題×3コマ)
 - ・値入高(率)、ロス高(率)、粗利益高(率)、利益の構造、売上高の構造要素
5. 振り返り学習② (講義・確認テスト×1コマ)
6. ショップで使われる計数用語③ (講義・演習×2コマ)
 - ・期首在庫高、仕入高、売上高、期末在庫高の関係
 - ・計画対比と構成比
7. RE・TENTで必要な計数① (講義・練習問題×4コマ)
 - ・売上高と消化率の考え方、在庫設定方法
 - ・売上予算の立て方(商品構成、商品構成比)
8. 振り返り学習③ (講義・練習問題×2コマ)
9. ショップ計数の基本のまとめ (講義・練習問題×4コマ)
 - ・前期末試験対策
10. MD上でよく使われる計数用語 (講義・練習問題×3コマ)
 - ・交差比率、商品消化率、返品率、商品原価高、値入高
 - ・マークアップとマークダウン
11. RE・TENTで必要な計数① (講義・練習問題×2コマ)
 - ・小売価格の設定方法
 - ・確定予算作成

【後期 : 14コマ】

1. RE・TENTで必要な計数② (講義×3コマ)
2. 経営上で使われる計数用語 (講義・練習問題×5コマ)
 - ・営業経費・営業利益・経常利益、損益分岐点、ABC分析
3. ケーススタディ (講義・練習問題×4コマ)
 - ・年間予算の立て方、月度予算の週および日割り予算への落とし込み
4. まとめ (講義・練習問題×2コマ)
 - ・学年末試験対策

【評価方法】

- ・S～C・F評価
- ・評価基準 : 学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	配布プリント

授業の特徴と担当教員紹介

- ・予実管理の基本をRE・TENT運営における実践を通して学ぶ。
- ・文化服装学院アパレルデザイン科卒業後にユニフォームデザイナーを経て、古着ショップを経営。ファッションビジネス分野を中心にファッションマーケティングやマーケットリサーチを専門科目として担当。

記載者氏名 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RE2	科 名	ファッション流通科2年リテールプランニングコース	単 位	2 単位
科目コード		科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	通年

担当教員(代表)： 渡邊純子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

五感に訴える売り場づくりの戦略である VMD の基礎知識と基本テクニックを習得する。
文化祭のショップ「RETENT」で実践すると共に、「実店舗における VMD 計画」を企画することで、就職活動や実社会でも活用できるようにする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
VMD の基礎 VMD とは何か [お店の GOOD&BAD・VMD の相関図・購買心理購買行動]	講義	2
VMD の基礎 MP (VP・PP・IP) について 人間の行動特性とは	講義	1
VMD の基礎テクニック ①～⑩・まとめ	実習・グループ活動	11
文化祭 RETENT 店づくりについて (店舗イメージ・什器について・レイアウト図作成)	講義・グループ活動	3
文化祭 RETENT エントランス展示を考える (一点透視図によるデザインプランの作成)	講義・グループ活動	1
課題「仮想店舗における VMD 計画」企画書作成&演習 プレゼンテーション	個人企画・演習	9

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価70% (提出物・最終課題・学年末テスト)
授業姿勢30% (出席状況・協調性)

主要教材図書	文化ファッション大系ファッション流通講座⑧「ディスプレイ・VP・VMD」文化出版
参考図書	VMD 用語辞典
その他資料	プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介

グループにて文化祭のショップ『RETENT』の VMD に取り組み、最終課題では個人企画を考える。
百貨店、大型商業施設、展示会にて VMD の企画・デザイン・施工に携わる。その実績を活かし講義と実技の両方向で VMD を伝える。
「商品装飾展示技能検定」を推奨しており、受検対象者には対策のセミナーを行う。

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通科2年 リテールプランニングコース	単 位	2 単位
科目コード	科目名 販売実務	授業期間	通年

担当教員(代表)：川井佐江子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

販売員としてのマナー、サービスマインド、基礎知識を修得

RE・TENT における店舗運営に必要なチームづくりや接客スキルを学ぶ

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類

- オリエンテーション・自己紹介 1 コマ
- 他己紹介・ソーシャルスタイル診断 1 コマ
- 言葉遣い 1 コマ
- 第一印象 1 コマ
- チームビルディング 2 コマ
- ビジネスマナー 3 コマ
- 接客 8 大用語 1 コマ
- セールスポイントとセールストーク 1 コマ
- お聞きだし、受け止め、共感 1 コマ
- アフターケア・クロージング・金銭授受 2 コマ
- RE・TENT 接客マニュアル・ダイレクトメール・チームディスカッション 3 コマ
- 靴の知識 1 コマ
- 小テスト(7 回) 7 コマ
- プレゼンテーション(2 回) 2 コマ

合計 26 コマ

評価方法・対象・比重(小テスト3：出席状況4：取り組み姿勢3)

年間7回小テスト実施、出席状況、授業への取り組み姿勢による総合評価/英字評価

主要教材図書

参考図書 大「顔」展図録、女性の美しいマナー、一般社団法人足と靴と健康協会

その他資料 朝日新聞

授業の特徴と担当教員紹介

●SOC(首尾一貫感覚)の高い人材育成を目標とする

担当教員：川井佐江子 財団法人専修学校教育振興協会認定 専修学校教員資格取得

一般社団法人 足と靴と健康協議会 シューフィッター(プライマリー)取得

一般社団法人 足と靴と健康協議会 シューフィッター(幼児子ども)取得

一般財団法人 日本教育推進財団監修 日本コミュニケーション能力認定協会 コミュニケーション能力検定2級取得

一般財団法人日本能力開発推進協会 JADP 認定チャイルドコーチングアドバイザー取得

記載者氏名 川井佐江子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通科2年 リテールプランニングコース	単 位	1単位
科目コード	科目名	コーディネートテクニク	授業期間	(後期)

担当教員(代表)： 夏目 幸恵	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

コーディネートを実践的にとらえ、客観的な視点に立ったファッションコーディネートの提案能力を養う。
1つのアイテムを複数のコーディネートで魅力的に提案できるよう、様々なコーディネートテクニクを学ぶ。

- 1、コーディネートテクニクの重要性と種類・・・1コマ
・イメージ、ライフスタイル、アクセサリ、カラー、パターン、
体型カバーのコーディネートテクニクをする（講義1コマ）
- 2、パターン（柄）に視点を置いたコーディネート・・・2コマ
(講義1コマ、実習1コマ)
- 3、アクセサリに視点を置いたコーディネート・・・・3コマ（講義2コマ、実習2コマ）
(アイウェア／ネックレス)
- 4、体系カバーに視点を置いたコーディネート・・・・8コマ
・体系観察／総合的カバー／部分的カバー
(講義3コマ、実習1コマ、プレゼン2コマ、試験1コマ)

合計 14 コマ

S～C・F評価
評価基準：学業評価 90% 授業態度 10%

主要教材図書
文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク 演出編
参考図書 なし
その他資料 なし

記載者氏名 夏目 幸恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RE2	科 名	リテールプランニング	単 位	13 単位
科目コード		科目名	セールスプロモーション	授業期間	通年

担当教員(代表)：藤岡麻生	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

社会で通用する専門用語とコミュニケーションを駆使した実習型のカリキュラムにて構成（生徒の業界に対する興味関心事も状況に応じて組み込み。）アパレル企業の初年度程度と同等レベルで体験を行う。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
講師自己紹介、生徒ディスカッション	座学	1
市場の理解（WEB で使用する共有言語など）	座学	1
プロセスエコノミーについて	座学	1
InstaLIVE について	座学	1
ファンビジネスについて	グループ実習	1
ブランディング考案	グループ実習	1
各ブランドのプロセスエコノミー投稿考案、LIVE 台本作成	グループ実習	1
制作・ストーリー作成、進捗確認、instaLIVE 実施、振り返り（投稿数、フォロワー）	グループ実習	1
制作・ストーリー作成、進捗確認、instaLIVE 実施、振り返り（投稿数、フォロワー）	グループ実習	1
制作・ストーリー作成、進捗確認、instaLIVE 実施、振り返り（投稿数、フォロワー）	グループ実習	1
振り返り資料作成	グループ実習	1
振り返り資料作成	グループ実習	1
振り返り発表	グループ実習	1

【評価方法】

出席率及び授業への参加意欲、課題提出、運用アカウント実績評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 日本外国語専門学校エアライン科キャビンアテンダント専攻卒業後、アパレル企業へ新卒で入社。販売員、店長、ブランドインフルエンサー、エリアマネージャーマネージャーを経て本社新設部署にて SNS マーケティングを学ぶ。現在は業務委託としてアダストリア、MARKSTYLER の業務を請け負う。自身が経験してきたことを含め、マーケティング用語を覚え、SNS を使用し、アパレル販売を行えるようになる。

記載者氏名 藤岡麻生

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 ファッション流通科 2 年 リテール・ランニング・コース	単 位	2 単位
科目コード 100400	科目名 アパレル商品論	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐藤 雄太郎	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションアドバイザーやバイヤー、企業を目指すために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。

1 年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称をより深く、リメイクや部分縫いなど講義だけでなく実技演習からお直しなどに必要な知識を習得する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	スカートの知識②
2	フォーマルウェアの知識①	17	ニット&カットソーの知識①
3	フォーマルウェアの知識②、過去問解説	18	ニット&カットソーの知識②
4	アパレル商品の柄の知識①	19	ニット&カットソーの知識③
5	アパレル商品の柄の知識②	20	ニット&カットソーの知識④
6	アパレル商品の柄の知識③ 実物布柄レポート作成	21	ジャケット・スーツの知識①
7	アパレル商品の柄の知識③ 実物布柄レポート作成仕上げ	22	ジャケット・スーツの知識②
8	シャツの知識①	23	ジャケット・スーツの知識③
9	シャツの知識②	24	コートの知識①
10	シャツの知識③	25	コートの知識②
11	シャツの知識④	26	コートの知識③
12	パンツの知識①		
13	パンツの知識②、裾上げ実習		
14	パンツの知識③ 裾上げ実習レポートまとめ		
15	スカートの知識①		

【評価方法】S～C・F評価 評価基準：学業評価 60% 授業姿勢40%
商品知識（デザイン、特徴、素材、構造など）について授業内容を理解できているか、筆記試験を行なう。
（前期、後期の平均点と出欠・授業態度）

主要教材図書

文化ファッション体系ファッション流通講座②コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ（商品知識）

文化ファッション体系ファッション流通講座①コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ（商品構成）、ファッション辞典

記載者氏名 佐藤 雄太郎

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 リテールプランニングコース	単 位	1単位
科目コード	科目名 EC ビジネス	授業期間	後期

担当教員(代表) :
黒川智生

共同担当者 :
辻野海露穂 (旧姓 築地)

【授業概要、到達目標・レベル設定】

リテント活動と連動し、各ブランドの製品をBASE（ネットショップ）を通じて販売する。その準備⇒ページ製作⇒販売⇒検証と一連を通じて、EC ビジネスの基礎を体験し、以後の活動に活かす。レベルは初級～中級で、他科目で学習した内容も活用して、自ら EC ビジネスを始められるレベルを目指す。

【授業計画】

●第一段階：準備-1（特別講義枠）

- 7月1日 サイト開設にあたっての概要設計-1（コンセプトターゲット、強み、競合、PR方針など）
- 7月8日 インスタグラム連携申請手順
- 7月22日 ささげ原稿作成方法

●第二段階：準備-2&製作（通常講義枠）

- 9月10日 目標設定
- 9月17日 ささげチェック
- 9月24日 発送方法と送料
- 9月30日 BASE 送料設定、在庫管理方法
- 10月1日 発送段取り
- 10月7日 CSとBASE 設定
- 10月8日 プレスリリース作成
- 10月15日 FAQ ページ、特商法ページ、ショップ設定

●第三段階：販売

- 10月21日 EC 開店作業
- 10月29日 売り上げ動向のリサーチ、改善案検討

●第四段階：検証

- 11月12日 EC 閉店作業
- 11月19日 EC 最終報告資料作成①
- 11月26日 EC 最終報告資料作成②
- 12月3日 EC 最終報告資料作成③
- 12月10日 成果発表

【評価方法】

出席点 20 点、HP 製作精度 25 点、ブランド売上目標達成度 25 点、最終報告書 25 点、個人特別加点 10 点

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし。

授業の特徴と担当教員紹介

BASE を利用した EC サイト構築、運営をチーム単位で実践。

記載者氏名 黒川智生

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 ファッション流通科 2 年リテールプランニングコース	単 位	1 単位
科目コード	科目名 商品企画演習	授業期間	前期

担当教員(代表)：佐藤 雄太郎	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 実践型カリキュラムとして取り組んでいる RE・TENT において必要なオリジナル商品企画について学ぶ。
 商品企画、生産、加工、品質管理など、さまざまな演習を通して実際の商品企画に役立てる。

第1ステップ 商品企画

- ・ 授業の目的、概要、授業の進め方を説明／実習条件の解説
- ・ ショップ企画のための商品リサーチ
- ・ リサーチまとめ

第2ステップ 生産管理

- ・ 契約書作成
- ・ 縫製仕様書／加工指示書の作成
- ・ RETENTで販売するアイテムのデザイン制作
- ・ ビジネスメール作成と発注

第3ステップ 品質管理 商品管理

- ・ 繊維製品を取り巻く法律を学ぶ
- ・ プライスタグ／アテンションタグ制作
- ・ サンプルチェック（検品）について

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価50%、授業姿勢50%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 佐藤 雄太郎

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 リテールプランニングコース	単 位	単位
科目コード	科目名 ビジネス論	授業期間	()

担当教員(代表)： 吉田直哉	共同担当者： 鶴戸茉莉、尾浜あづさ、立花倫子
----------------	------------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

グループワークやケーススタディなどを通じて、ファッション業界や世の中における最新の情報をキャッチアップしつつ、ビジネスとして俯瞰で捉えられる力を身につける。

【授業計画】

ビジネスパーソンとして重要なスキルを学ぶ-----3 コマ

- ・これからの時代における情報リテラシーとは
- ・情報編集力と情報発信力を向上させる必要性
- ・財務諸表を読み解く
- ・ニュースの読解力を高める

自分らしいキャリアを築き上げるために就活力を向上させる-----5 コマ

- ・会社を知る
- ・会社、仕事の選び方
- ・自己分析
- ・面接準備
- ・ファッション業界人事からリアルを聞く

ファッション業界で活躍中の方から実践できるスキルを学ぶ-----2 コマ

- ・EC
- ・デジタルマーケティング

新しいビジネスを作る上で俯瞰力を身につける-----3 コマ

- ・他業界に学ぶ成功事例
- ・具体と抽象を繰り返すことの重要性
- ・新規事業を考える
- ・これからのアパレル業界を考える

【評価方法】

授業態度（発言、レポート、出席）

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし

授業の特徴と担当教員紹介

代表取締役である吉田は、アパレル販売員からキャリアをスタートさせた後、リクルートでの人材ビジネス経験を経て人材事業を柱とする株式会社 ALL IS NEW を設立。吉田の他、ファッション業界におけるビジネス経験豊富なメンバーや業界外のビジネスにも精通した経験豊富なメンバーによって、広い視点でこれから必要とされるビジネス力について講義を行なっています。

！ 記載者氏名 吉田直哉

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RE2	科 名	リテールプランニングコース2年	単 位	1
科目コード		科目名	パーソナルカラー	授業期間	前期

担当教員(代表): 小島 有紀	共同担当者: -
-----------------	----------

教育目標・レベル設定など

1年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場でビジネススキルとして活用する「似合う色」の習得を目指す。色による「自分ブランディング提案」や「ブランドプロデュース計画」の他、RE・TENTにいかす色彩計画について学ぶ。(＊パーソナルカラー検定3級・2級を受験できる内容)

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●パーソナルカラー概論(2コマ)

- ・パーソナルカラーの本来の目的や意味、似合う色の定義について
- ・ファッション業界の現状をふまえたパーソナルカラーの活用法やビジネス展開について
- ・「パーソナルアイデンティティ(自分らしさ)」の確立、「自分ブランディング」について(外見と内面の自己実現)
- ・パーソナルカラー検定について

●パーソナルカラーの基本(2コマ)

- ・パーソナルカラーの色の見分け方(色感)／イメージワードの使い方
(タイプ別コラージュの作成による色感の習得／ワードのボキャブラリーを増やす)
- ・素材・デザイン・柄・メタリックへの応用
- ・色素(肌・髪・眼)の見方／色素チェックの実践(自分自身、対クライアント対策)
- ・色素と似合う色の関係性のセオリー(色の三属性でとらえる)
- ・色素をふまえた第一印象ディスカッション(パーソナルアイデンティティをとらえる／接客への展開方法)

●ドレーピング分析方法とコラージュ作成(4コマ)

- ・分析理論、ドレーピング技法、接客コミュニケーションとしてのドレーピング
- ・グループ別ドレーピング実習(自分の似合う色を知る)／コラージュ作成・課題作成

●コンサルティング概論と自分ブランディングシートの作成(2コマ)

- ・パーソナルカラーをテーマにしたアドバイス理論／コンサルティング接客の理論
接客への活かし方: 色素をほめる、似合う色を活かす、好きな色や流行色を活かす、配色提案をする
- ・パーソナルカラーを活かした配色技法: タイプ別の配色方法、統一と変化の考え方、アクセントカラー
- ・自分自身のブランディングシート作成(就職活動、仕事での自分の見せ方)

●店舗における色彩計画(2コマ)

- ・色の見せ方を考える(コンセプト、商品、ブランドイメージ、演出イメージ等)
- ・商品色の構成、VMDの工夫(店舗計画・ディスプレイ、背景色)／統一と変化の考え方
→上記をパーソナルカラーの視点を入れて計画する/RE・TENTでの展開をふまえて考える
- ・定番色・流行色・ブランドカラーの活用方法
- ・ブランドプロデュースシート作成
- ・ネット店舗におけるカラー展開

●パーソナルカラー活用まとめ(1コマ)

- ・ブランドプロデュースシートのプレゼンテーション、講評
- ・RE・TENTでの色彩活用まとめ／ファッション業界での展開まとめ

*実習やロールプレイを状況に応じて織り交ぜながら進める。

評価方法・対象・比重

- ① S～C・F評価／評価基準: 学業評価60%(提出物・作品課題・小テストの内容の評価)
授業姿勢40%(出席状況、参加姿勢、提出物の提出の有無)

主要教材図書

「パーソナルカラー検定公式テキスト3級」「同 2級」の2冊: 日本カラーコーディネーター協会

参考図書 なし

その他資料 オリジナルプリント教材、カラーカード

記載者書名欄 小島 有紀

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RE2	科 名	リテールプランニングコース 2	単 位	2 単位
科目コード		科目名	メディアワーク	授業期間	前後期

担当教員(代表) : 山本 拓	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1 年次に習ったデザインソフトの復習、応用スキルの向上。

実際にアパレル業界、デザイン業界で使われるデザインに関する基本知識を学ぶ。

卒業後に自分たちの進みたい道で活かせる指示書や、資料の作成スキルを身につける。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
授業内容説明と Google Drive の使い方	本授業の目的説明とクラウドを使用したの保存方法の説明	1
Illustrator の基本操作	基本的な Illustrator の使用方法を資料を用いての説明と練習	5
Photoshop の基本操作	基本的な Photoshop の使用方法を資料を用いての説明と練習	5
Illustrator と Photoshop の連携	基本で学んだ内容を応用し、両ソフトを連携して使用する方法を学ぶ	3
印刷方法の基礎知識	制作したデータの印刷方法を学び、実際に入稿できるデータ制作を学ぶ	3
バナー制作	Web での使用を目的としたデザインの制作方法	3
ポスター制作	実際に入稿できるデータでポスターを制作し、入稿データ制作まで行う	4

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準 : 出席率・授業態度50% 課題制作物50%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 当方で製作した資料

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。

アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッション英会話	授業期間	前期

担当教員(代表)：増田和香子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

今までに学んだ基本的な文法知識を基に、簡単な英語でコミュニケーションをとることを目標とする。少人数クラスの利点を生かし、学生が自主的に英語を話そうとする意欲を涵養する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Unit 1: Self-introduction	演習	1	Unit 25: Adjectives for fashion	演習	1
Unit 8, 9, 10: Review of grammar	演習	1	Unit 27: Structure of a presentation & Sequence connectors (How to make it?)	演習	1
Unit 20: Fashion items	演習	1	Unit 28/29: Large numbers and shopping	演習	1
Unit 21: Colors-Patterns	演習	1	Unit 31: Resume	演習	1
Unit 22: Laundry care	演習	1	Unit 32: Job interview	演習	1
Unit 23/Unit 26: Body and face parts	演習	1	Unit 33: fashion show	演習	1
Unit 24: Presentation	演習	1		演習	

【評価方法】平常点（出席、クラス参加）30%、授業中の小テスト 30%、ライティング 10%、プレゼンテーション 30%の評価基準を用い、S～C・F 評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

テキストは文化服装学院オリジナルのテキストを用い、文法事項やファッション関係の語彙を再確認する。

主要教材図書	<i>Essential English for Fashion Students</i> (文化服装学院編)
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名	増田和香子
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RB2	科 名	ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	TOEIC	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三村 典召	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
TOEIC テストでの 600～700 点程度の取得。
またスコアに見合うだけの英語力を身につける。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
コースと TOEIC の概要紹介	演習	1
接尾辞と品詞	演習	1
Part 1 解説と演習	演習	1
Part 2 解説と演習	演習	1
Part 3 解説と演習	演習	1
Part 4 解説と演習	演習	1
接頭辞と意味	演習	1
Part 5 解説と演習(1)	演習	1
Part 5 解説と演習(2)	演習	1
Part 6 解説と演習	演習	1
Part 7 解説と演習(1)	演習	1
Part 7 解説と演習(2)	演習	1
Part 7 解説と演習(3)	演習	1

【評価方法】学業評価(50%)、授業姿勢(50%)

授業の特徴と担当教員紹介
TOEIC の出題形式に慣れるために、目標レベルにあったテキストでの問題演習を繰り返すことで、Part 毎の出題傾向を捉える。

主要教材図書	増補改訂版 はじめての TOEIC L&R テスト 全パート総合対策
参考図書	
その他資料	

記載者氏名 三村 典召

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年／ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重

提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年 / ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
RA1234	科目名 ソーイング a	授業期間	前期
科目コード			

担当教員(代表) : 中野 麗子

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価

評価基準 : 学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク アクセサリー編

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野 麗子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年／	単 位	1 単位
科目コード	ファッション流通高度専門士科 1 年～4 年共通自由選択	授業期間	前期
	科目名 選択帽子（布帛）		

担当教員(代表)：徳満 真紀	共同担当者：
-------------------	--------

概要： 布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。
発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリコーディネートを行う。

I. 帽子の一般知識導入…（講義・実習）1 コマ 1 歴史・名称・素材・用具・かぶり方・マナー 2 自分のハットサイズの測り方を学び、採寸
II. ベレー帽製作…（講義・実習）5 コマ ベレー帽の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
III. 自由作品製作（キャップ・クロッシュー・ハンチング・キャスケット・ヘッドアクセサリ）…（講義・実習）6 コマ 各自製作の帽子の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
IV. 発表会……1 コマ 1 製作した作品に合わせトータルコーディネートを行い発表会実施

【評価方法】	1 S・A・B・C・F 評価 2 評価基準…学業評価 50% 授業姿勢 50%
--------	---

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリ編 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
参考図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック演出編 I 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
その他資料	なし
授業の特徴	布帛の帽子に関するパターン作りと縫製方法を身につけ、帽子を活かしたコーディネート発表会を行う。
担当教員紹介	文化服装学院 専任教授

記載者氏名	徳満 真紀
-------	----------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	単 位	単 位
科目コード	科目名	授業期間	前期

担当教員(代表)：関根 麻里恵

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要：ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。

到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。

レベル設定：映画を定期的に鑑賞していて、映画とファッションの関係やジェンダーに興味があり、なおかつそれを知ろうとする向上心のある学生が好ましい。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
第1回 イントロダクション	講義	1
第2回 映画・ファッション・ジェンダーの関係	講義	2
第3回 1910年代-1920年代：サイレント時代	講義	3
第4回 1930年代-1940年代：ハリウッド映画黄金時代	講義	4
第5回 映画作品鑑賞①	講義	5
第6回 1950年代-1960年代前半：娯楽大作主義時代	講義	6
第7回 1960年代後半-1970年代前半：アメリカン・ニューシネマ、パニック映画時代	講義	7
第8回 映画作品鑑賞②	講義	8
第9回 1970年代後半-1990年代前半：ニュー・アメリカン・ドリーム、ビデオ時代	講義	9
第10回 1990年代後半-：CG時代	講義	10
第11回 映画作品鑑賞③	講義	11
第12回 LGBTQ映画とファッション	講義	12
第13回 まとめ	講義	13

【評価方法】

①S～C・F評価。出席（40％）＋コメントシート（10％）＋レポート（50％）

主要教材図書 なし

参考図書

川本恵子『新装版 魅惑という名の衣裳―ハリウッド・コスチュームデザイナー史』株式会社キネマ旬報社、2009年。

村山匡一郎編『映画史を学ぶ クリティカル・ワーズ【新装増補版】』フィルムアート社、2013年。

その他資料 適宜配布

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：ファッションも映画も、その当時の社会的背景や技術に影響をうけて発展・衰退・進化をしているメディアであることを、歴史を踏まえながら理解することで、ファッション、映画双方への理解を深めることができる。

担当教員紹介：専門は表象文化、ジェンダー・セクシュアリティ、文化社会学。ファッション批評誌『vanitas』（アダチプレス、2013年）のほか、『ユリイカ』『現代思想』などに寄稿。共著に『ポスト情報メディア論』（ナカニシヤ出版、2018年）、『「百合映画」完全ガイド』（星海社、2020年）、『クリティカル・ワード ファッションスタディーズ―私と社会と衣服の関係』（フィルムアート社、2022年）、『ポストヒューマン・スタディーズへの招待―身体とフェミニズムをめぐる11の視点』（堀之内出版、2022年）、共訳に『ファッションと哲学』（フィルムアート社、2018年）がある。（2020年6月現在）

記載者氏名 関根麻里恵

科コード	RA2	科 名	ファッション流通科2年/流通高度専門士科1～4年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	パソコンスキル b	授業期間	前後期

担当教員(代表)：山本 タク	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[illegible]

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：出席率・授業態度50% 課題制作物50%

主要教材圖書

参考図書

その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。

アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、
生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2023 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 ファッション流通科 2 年 リテールプランニングコース	単 位	2
科目コード 980020	科目名 特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：砂生 政信	共同担当者：佐藤 雄太郎
----------------	--------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リテールマーチャンダイジングに必要な専門知識の理解を深める。 ・リテールプランニングに関連する業界・業種の視野を広げ、自身の企画に活かす。

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングとブランディングの重要性 ・刺繍、プリント業界について ・OEM の業界とその特性 ・商品企画に必要な法律の知識 ・ブランド運営 ・商品撮影 ・EC サイトの立ち上げ ・EC サイト運営 ・スマートフォンを活用した動画撮影、編集について ・ギフトングについて ・プレスリリースについて ・効果的な VMD ・ポータルサイト作成 ・バーチャルファッションの現状 ・舞台衣装見学 ・美術館見学 <p>など</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>履修認定 (P 表示) 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する</p>

<p>主要教材図書</p> <p>なし</p>
<p>参考図書</p> <p>なし</p>
<p>その他資料</p> <p>なし</p>

<p>記載者書名欄 佐藤 雄太郎</p>

2023年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 ファッション流通科2年 リーディングコース1、2組	単 位	1
科目コード	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)：砂生政信	共同担当者：佐藤雄太郎
---------------	-------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>研修旅行における企業見学（カイハラ株式会社、トーホー株式会社ほか）を通し、産業の現場を幅広く理解させる。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>《研修旅行：広島 2泊3日》</p> <p>1日目(8:30頃 発)</p> <p>東京駅～福山駅～カイハラ工場見学～福山市内ホテル泊</p> <p>2日目</p> <p>ホテル～トーホービーズ工場見学～広島市内見学～広島市内ホテル泊</p> <p>3日目</p> <p>ホテル～宮島見学～広島駅～東京駅</p> <p>(18:30頃 着)</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修認定（P表示） ・評価基準：学業姿勢・出欠状況

<p>主要教材図書</p> <p>なし</p>
<p>参考図書 なし</p>
<p>その他資料 なし</p>

<p>記載者書名欄 砂生政信</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 ファッション流通科2年 リテールプランニングコース1、2組	単 位	a:1単位 b:2単位
科目コード	科目名 インターンシップ a・b	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：砂生政信	共同担当者：佐藤雄太郎
---------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来のキャリアを視野に入れ、産業界の現状を理解し、実務の経験を積むことを目的とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ◇インターンシップの概要説明・・・就職支援二課より説明
- ・長期休暇を利用したインターンシップ(夏期休暇・冬期休暇)
 - ・企業への受け入れ交渉について
→学生個人が交渉

- ◇単位と研修期間について
- ・1単位：1週間～4週間(35～40時間)
 - ・2単位：2週間～4週間(70～80時間)
(80時間以上研修しても2単位のみ)

- ◇事前提出書類
- ・受入れ先開拓届け出票
 - ・エントリーシート

- ◇研修後提出書類
- ・レポート(日報・所感)
 - ・評価票(研修先記入)

※書類提出後に教務への単位付与申請

【評価方法】

- ・履修認定(P評価)
- ・出欠 50% レポート提出 50%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 ファッション流通科2年リテールプランニングコース	単 位	1単位
科目コード 616003	科目名 イベント実習 a	授業期間	前期

担当教員(代表) : 砂生 政信

共同担当者 : 佐藤 雄太郎

概要

- ・コースの特徴を打ち出すイベントを企画、実施する
- ・RE-TENT の報告会を行い、各チームの企画内容を公開発表する
- ・RE-TENT に関わる展示を行う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

①オリエンテーション

- ・イベント概要説明

②イベント案検討

- ・ターゲットを再確認し、展示案を決める
- ・役割分担を決める

③制作活動

- ・展示準備(各パートに分かれて制作物を準備)
- ・RE-TENT の各チームで公開報告会の準備

④イベント実施

- ・各パートごとに新入生へ見学の誘導を行う
- ・新入生へ積極的にお声がけをし、新入生、在学生の繋がりをつくる

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 学業評価 60% 授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 佐藤 雄太郎

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	2
科目コード	科目名 イベント実習 b	授業期間	後期集中（自由選択）

担当教員(代表) : 木本 晴美	共同担当者 : 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 齋藤房枝
---------------------	--

教育目標・レベル設定など

自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。

授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 顔合わせ 検討会 4 コマ 講義・実習
 - ・各パート係選出・決定
 - ・各パートにて検討会
- 各パート実働 12 コマ 実習・点検
 - ・各パート活動を通してファッションショーの仕組みと効果的な演出方法を学ぶ
 - ・各シーンでのフィッティング点検
 - ・エフェクト(音楽・照明・映像)点検
- 準備 リハーサル 9 コマ 実習・点検
 - ・各パートでの実習 準備リハーサル
- 本番 4 コマ 実習
 - ・各パートでの実働
- 反省会 片付け 1 コマ 実習・まとめ
 - ・各パート片付け・反省会

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位 1
科目コード	科目名 イベント実習 c	授業期間 後期集中(自由選択)

担当教員(代表): 木本 晴美	共同担当者: 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 齋藤房枝
--------------------	---

教育目標・レベル設定など

自由選択で行うイベント実習での企画運営。イベントの企画立案を学び、イベントの構築を行う。
ファッションイベント制作での個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力を養う。

授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●企画立案

・企画スタッフ公募

学生個々で企画立案レポート作成 1 コマ 実習

・テーマ設定

テーマの検討・決定 3 コマ実習・点検

・シーン設定

シーンの検討・決定 4 コマ実習・点検

・プロモーション

プレスリリース案検討・決定 2 コマ実習・点検

・各シーン内容の構築

各シーンについての内容細部検討 4 コマ

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 ファッション流通科2年 リーディングコース1、2組	単 位	4
科目コード	科目名 卒業制作	授業期間	後期

担当教員(代表)： 砂生政信	共同担当者： 佐藤雄太郎
----------------	--------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>実践型カリキュラムとして取り組んでいる「RE・TENT」での経験を生かして、「新しいビジネスモデル」という視点で個人企画を行う。またプレゼンテーションと展示を実施する。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>◆個人企画(4単位)・・・新しいビジネスモデル企画書作成、プレゼンテーション、個別展示</p> <p>1. 卒業制作の概要説明(1コマ)</p> <p>2. RE・TENTの企画と活動の振り返り(2コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人レポート作成 <p>3. 「新しいビジネスモデル」という視点で新規ビジネスプランを練る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画に向けたリサーチ(7コマ) →リサーチの計画と実践 →「見る・聞く・調べる」のリサーチから見えてくることの整理 →リサーチ結果の分析とまとめ ・企画書作成(8コマ) <p>4. 企画における新しいポイント、特徴的なポイントを具現化する(10コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具現化するものは商品サンプル、店舗模型、ホームページ作成、ビジュアルブックなど ・具現化のための準備および実習 <p>5. プレゼンテーション準備(10コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを用いたプレゼンテーションのための準備 ・発表原稿作成 ・パワーポイントデータ作成 <p>6. プレゼンテーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス内でのプレゼンテーションを行う →クラス内プレゼンテーション(3コマ) <p>7. 展示準備と実施(8コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別展示
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>S～C・F評価 評価基準：学業評価50%、授業姿勢50%</p>

<p>主要教材図書</p> <p>なし</p>
<p>参考図書</p> <p>なし</p>
<p>その他資料</p> <p>なし</p>

<p>記載者書名欄 砂生政信</p>
